



平成 23 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
 代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰
 (J A S D A Q ・ コード番号 2694)
 問合せ先 常務取締役 川上 一郎
 (TEL. 022 - 237 - 5566)

平成 23 年 3 月期通期業績予想との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 10 日付当社「平成 23 年 3 月期通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。
 また、特別損失の計上についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値と実績値の差異 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,662	△77	73	△980	△16.25
実 績 値 (B)	17,197	△198	△75	△2,700	△44.75
増 減 額 (B-A)	△465	△121	△149	△1,720	-
増 減 率 (%)	△2.6	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	15,966	263	401	292	6.69

2. 修正理由

当社は、個人所得の低迷や、節約志向の高まりから外食の頻度が減少することを想定し、平成 23 年 3 月期の方針といたしまして、新規出店を抑制する一方、不振店の業態見直しや老朽化した店舗のリニューアル、メニューの見直し、コストの削減などを積極的に取り組んでまいりました。

寿司事業は、お客様の来店動機を高める目的で「逸品紀行」「厳選 旨味祭」「秋の旬鮮市」「冬の旨味祭」「春らんまん」等の季節毎の期間限定フェアを開催したほか、グランドメニューの価格改定や定期的な変更等により、旬の食材をいち早くお得に多くのお客様にお届けすることで、来店頻度増加を目指して参りました。また、創作寿司や 1 皿 3 貫盛りの当社オリジナル商品を開発、提供し集客力増加に努めて参りました。しかしながら、主要エリアである東北地方における経済悪化が著しく、個人消費の回復が遅れ客数減少に歯止めがかからない状態が続き、さらには 3 月の大震災で営業休止を余儀なくされたことも影響し既存店の売上高は前事業年度を下回り、売上計画が未達成となりました。

居酒屋事業は、グランドメニューの見直し、不採算店舗の撤退・業態転換などを進めながら中心

業態である、とりあえず吾平では2か月に1度フェアメニューを導入、ちゃんこ江戸沢では定期的な季節メニューを導入し売上高の維持に努めました。当事業年度は直営店4店舗、FC店8店舗を出店、業態転換8店舗、不採算店舗24店舗を閉店いたしました。また平成22年7月1日にフードインクルーヴ株式会社との合併により直営12店舗、FC店205店舗が増加した結果増収となりました。以上のことから、合併による経営資源の集中と選択を進め、間接コストの低減化を図りながら営業基盤強化に努めて参りましたが、競合他社との競争や個人消費の回復の遅れ、さらには需要期である3月の東日本大震災の影響もあり、来店客数が減少し売上高は合併効果により増収となったものの、営業利益、経常利益、当期純利益について通期業績予想を下回る結果となりました。

3. 特別損失の計上

「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）の適用に伴い、当社は当事業年度において、期首時点で発生する影響額を特別損失に計上した他、長期的な景況感の低迷の影響、競合他社との競争が激化したことなどが原因で店舗の収益性が悪化した結果、減損損失が発生いたしました。株式会社グローバルアクトとの合併により発生したのれんの減損損失、不採算店舗の閉店、固定資産除却損、固定資産売却損、店舗閉鎖損失及び店舗閉鎖損失引当金の繰入を実施しております。

以上のことから特別損失として25億36百万円計上いたしましたので、内訳をお知らせいたします。

① 固定資産除却損	9百万円※1
② 固定資産売却損	12百万円※2
③ 投資有価証券売却損	3百万円※3
④ 減損損失	1,813百万円※4
⑤ 店舗閉鎖損失	22百万円※5
⑥ 店舗閉鎖損失引当金繰入額	171百万円※6
⑦ 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	335百万円※7
⑧ 災害による損失	167百万円

※1は平成22年8月13日「平成23年3月期第2四半期累計期間および通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせした額より新たに8百万円増加しております。

※2は平成22年8月13日「平成23年3月期第2四半期累計期間および通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」および平成23年2月10日「平成23年3月期通期業績予想修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせ済みです。

※3は平成23年2月10日「平成23年3月期通期業績予想修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせ済みです。

※4は平成23年2月10日「平成23年3月期通期業績予想修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせした額より新たに17億77百万円増加しております。

※5は平成23年2月10日「平成23年3月期通期業績予想修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせした額より新たに22百万円増加しております。

※6は平成23年2月10日「平成23年3月期通期業績予想修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせした額より新たに88百万円増加しております。

※7は平成22年8月13日「平成23年3月期第2四半期累計期間および通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせ済みです。

以 上